

連合会だより 66号

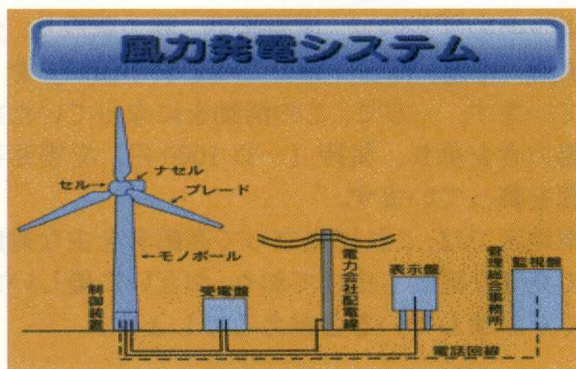
2015 年度役員研修会が行われました

平成 28 年 2 月 17 日、本年度の役員研修会が群馬県吉岡町にある「吉岡エネルギーパーク」にて行われ、坂東発電所所長の説明をもとに施設内の自然エネルギー設備を研修してきました。

群馬県企業局は吉岡町の協力を得て利根川右岸の緑地公園に「自然環境との調和」をテーマとした自然エネルギーパークを作りました。ここには県営の風力発電所と小水力発電所、町営の太陽光発電設備と地熱利用の温泉があり県外からも多くの訪問者があるそうです。



風力発電所は、ポール頂上にある羽根が風力で回転し発電機が稼働、発電します。最大出力は 300kW、ポールの高さ 41.5m、羽根の直径は 30m、総重量 55 トンの風車で風の向きに合わせて角度が微調整できるといった最新技術を備えた発電所です。

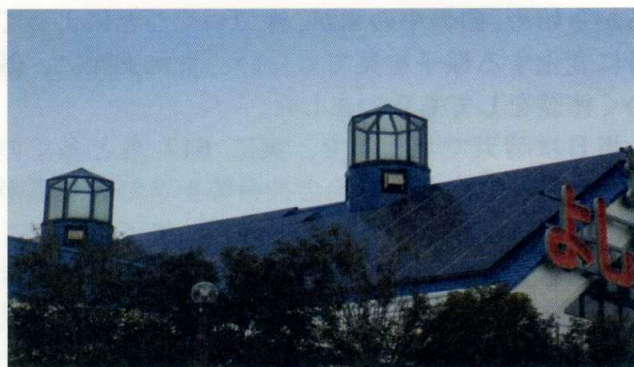


水力発電所は農業用水を利用した小水力発電所で、この発電所の最大出力は 540kW、最大使用水量 10.4 m³/s、水車型発電機 150kW4 台、約 3km 上流から利根川の水を引いており最大落差は 7.36m しかありま

せん。このタイプの小水力発電所は大型の水力発電所のような水量や落差のない場所にも設置でき経費やメンテナンスの面での負担が軽減できるメリットがあるということです。



太陽光発電パネルは道の駅「リバートピア吉岡」の屋根に 150 枚設置されていました。この発電機の最大出力は 20kW、太陽電池は 21.5kW、蓄電池は MES 型、容量 150Ah(8kW/日)です。この規模の発電パネルは町田市市内でも見かけることがあります。



地熱利用の温泉施設は外から見ただけですが何人かの人たちが足湯を楽しんでいました。休日ともなると大勢の利用があるとのことでした。

【まとめ】

風力発電所の建設総工費は 1.3 億円、水力発電所の建設総工費は 4.6 億円だったそうですが、いずれの施設も自然を相手にする難しさ故に事業計画通りの採算はとれていないようです。それでも自然エネルギーを利用することにより化石燃料の使用を最小限にして大切な石油を次世代に残すという大きな目標に向かって日々の業務に励んでいるとのことでした。

(編集委員 山田義雄)

